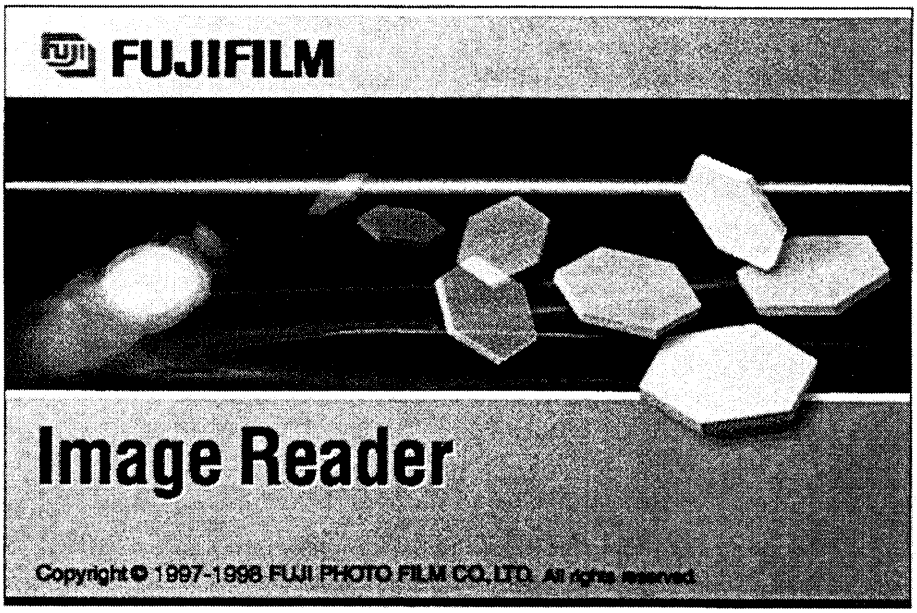
FUJIFILM

Image Reader for Windows®

取扱説明書



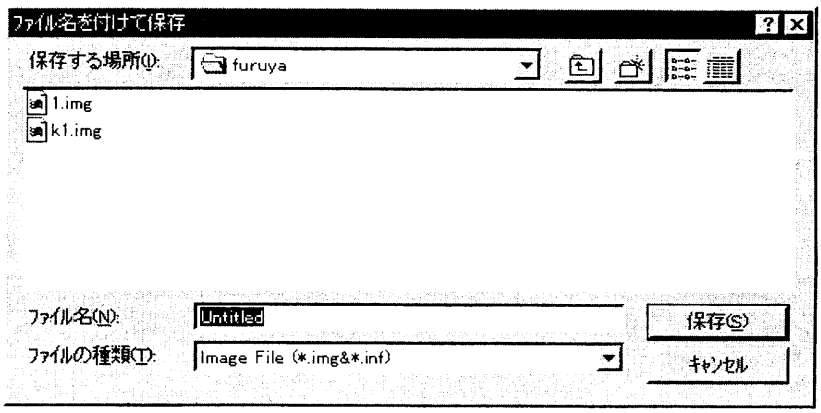
2000. Jan. Version 3.0

4 Sampling Areaで読み取り部位を設定します。最小読み取り範囲は1グリッド(2.5cm×2.5cm)になります。

Grid : BASゲージのラインに沿って読み取り部位を指定します。
Free : 任意の部位を指定します。
All : IPを包含する全ての領域を読み取ります。

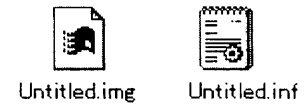
5 Readを選択し保存場所を決定します。この時、MOや外部ハードディスク等を選択しないでください。

画像データの欠落が起きる場合があります。



6 保存を選択して読み取りが開始されます。(誤って読み取り中にフタを開けてしまった場合には、それまで読み取った分で画像ファイルを作成します。ただし、定量性の保証はされません。)

7 読み取り終了後に以下のような画像ファイルが作成されます。



or

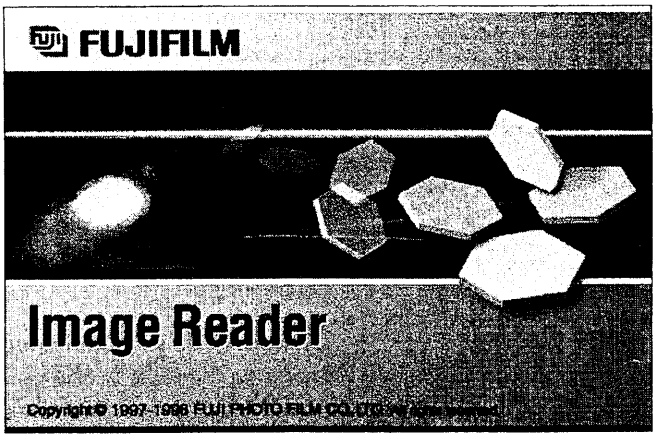
注意 画像データはハードディスクにデジタル情報として保存されますが、その性質から常に破壊される危険性を有しています。貴重なデータは二重、三重にバックアップを取ることをお薦めします。

※ FLA-3000（FLA-2000）はFLA-3000G（FLA-2000G）に対して、搭載されているレーザが1種類少ないリーダです。
ここでは、FLA-3000Gの場合を例に説明しますが、FLA-3000/ FLA-2000G / FLA-2000でも基本操作は同じです。

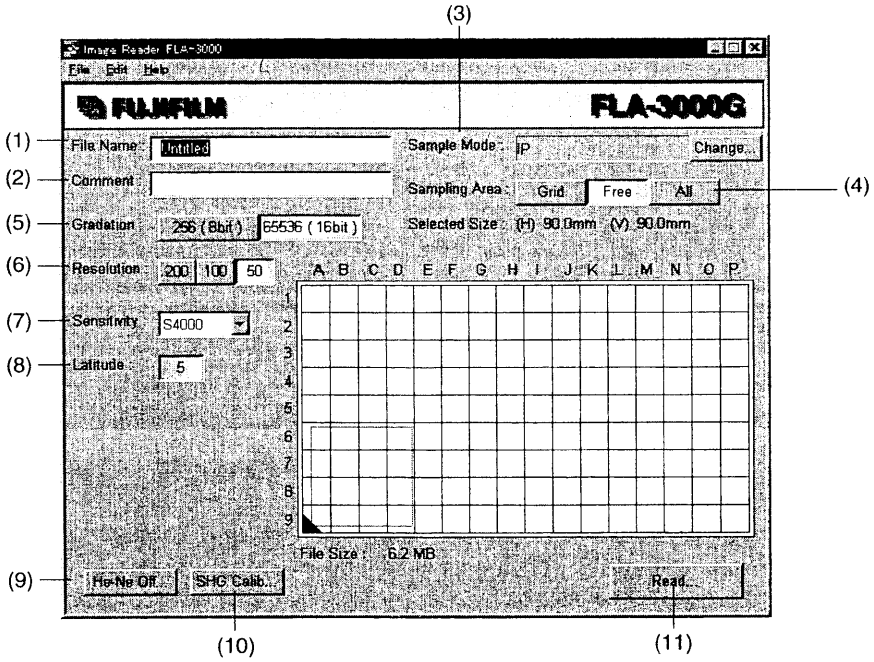
2. IP/蛍光リーダ（FLA-3000G）の場合

ImageReader

1 FLA-3000G本体が立ち上がっている（Powerランプのみが点灯）ことを確認し、 をダブルクリックしてください。



2 以下のウィンドウが表示されます。



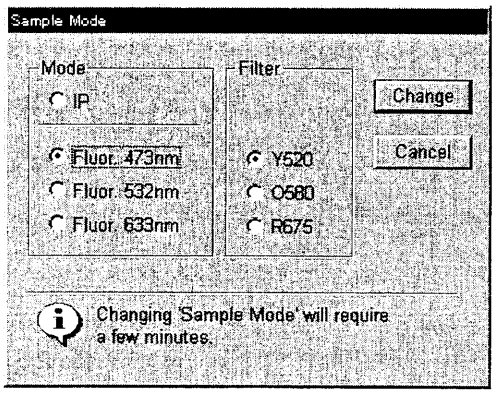
3 上記ウィンドウ中で読み取り条件の設定をしてください。

(1) **File Name** : ファイル名を入力します。

(2) **Comment** : コメントを入力します。

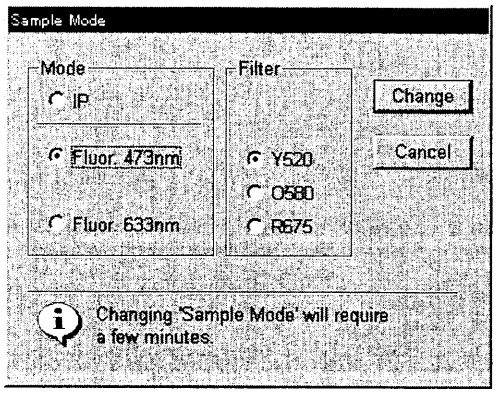
(3) **Sample Mode** : IPモード / 蛍光モードの選択をします。

Change をクリックしてください。以下のダイアログが表示されます。



IP : IP読み取りモード
Fluor.473nm :
蛍光モード。473nmのレーザで励起し、520nm、580nmあるいは675nmのフィルタを採光に使用。
Fluor.532nm :
蛍光モード。532nmのレーザで励起し、580nmあるいは675nmのフィルタを採光に使用。
Fluor.633nm :
蛍光モード。633nmのレーザで励起し、675nmのフィルタを採光に使用。
蛍光モードに使用する採光用のフィルタはハイパスフィルタです。
したがって、
520nm→520nm以上の光を採光
580nm→580nm以上の光を採光
675nm→675nm以上の光を採光
ということになります。

FLA-3000 / FLA-2000の場合、上記ダイアログは以下のようになります。



モード選択後 Change をクリックすることで、モードが変更されます。

※ モード変更には数分かかります。

(4) **Sampling Area** : 読み取り部位を設定します。
最小の読み取り範囲は1グリッド (2.5cm×2.5cm) になります。

Grid : IPステージ / フルオロステージからの内挿ラインに沿って、読み取り部位を指定します。
Free : 任意の部位を指定します。
All : IPまたは蛍光サンプルを包含する全ての領域を読み取ります。

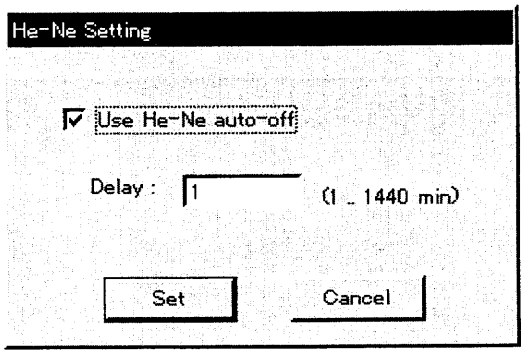
(5) **Gradation** : 濃度階調。
1ピクセルを何階調で表すかを選択します。

(6) **Resolution** : 分解能。
1ピクセルのサイズをμm単位で選択します。

(7) **Sensitivity** :感度。
IPモードの時はS4000固定になります。
蛍光モードの時はF1/F10/F100/F1000 4種からの選択になります。F10はF1よりも10倍、F100はF1よりも100倍高感度になります。
およその目安として、メンブレン時はF1またはF10、ゲル時はF100またはF1000を使用します。

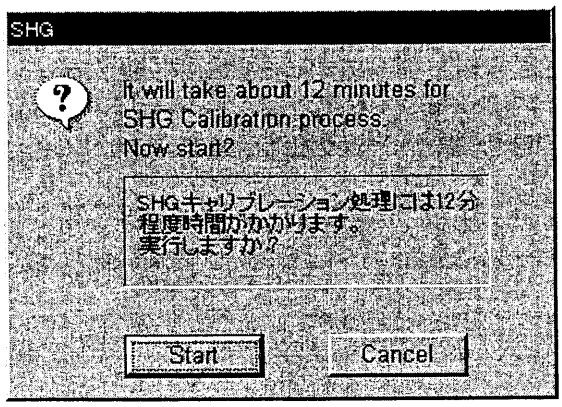
(8) **Latitude** :5桁固定です。

(9) **He-Ne Off...** : FLAが立ち上がった状態(Powerランプのみが点灯)から任意の時間でHe-Neレーザを消灯する機能です。
必要に応じて使用します。
He-Ne Off... をクリックしてください。以下のダイアログが表示されます。

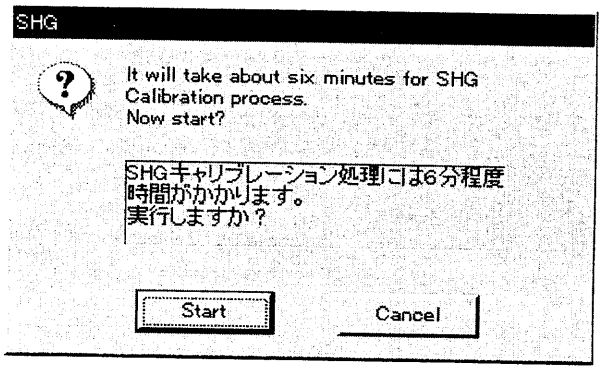


時間を設定し、☐をチェック(☑)してください。
Set をクリックすれば、次回のFLA立ち上げ時に設定条件が有効になります。

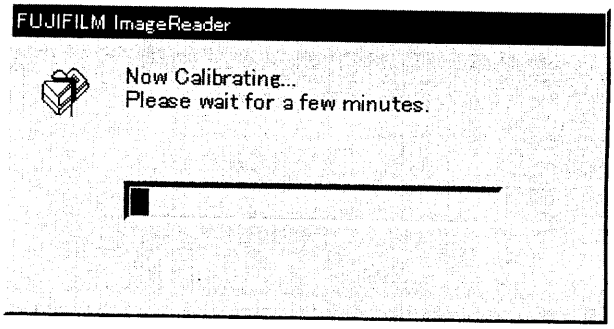
(10) **SHG Calib...** : SHGレーザのキャリブレーションを行う機能です。
必要に応じて使用します。
SHG Calib. をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



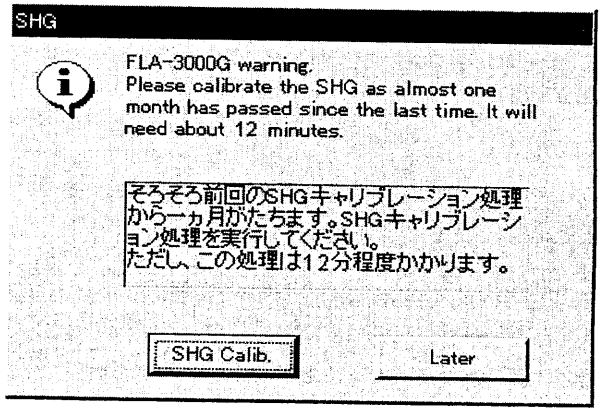
FLA-3000(FLA-2000)の場合はレーザが1種類少ないので、本キャリブレーションの時間はFLA-3000G(FLA-2000G)の時の約半分になります。



Start をクリックすれば、以下のダイアログが表示され、キャリブレーションがスタートします。



※ 前回のキャリブレーションから1ヶ月弱経過すると、読み取り実行時にワーニングが表示されます。

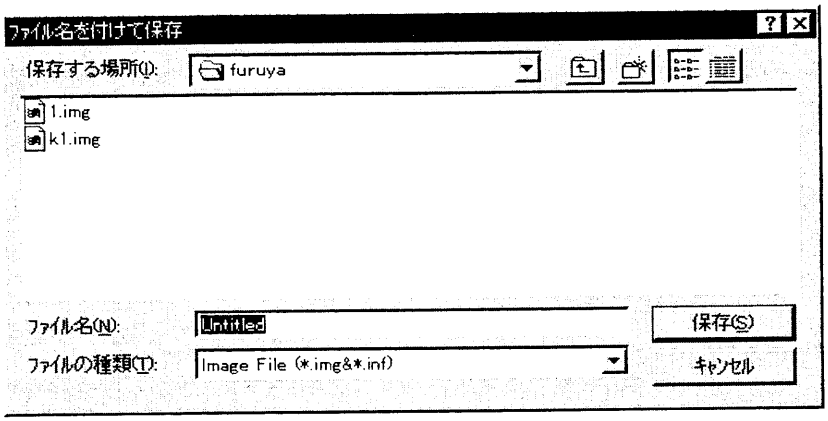


Later をクリックするとキャリブレーションはスキップされます。

※ 1ヶ月をを過ぎると読み取り時に強制的にキャリブレーションが実行されます。

4 各項目の設置後、[Read...] をクリックしてください。

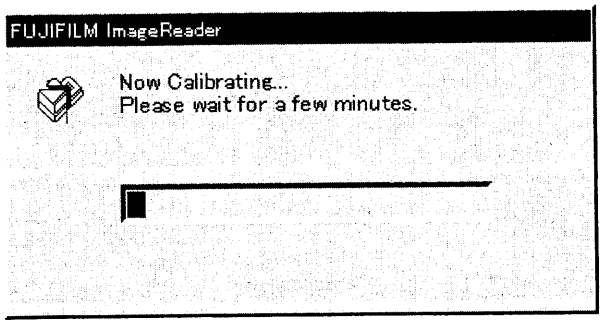
以下のダイアログが表示されます。画像保存場所を設定してください。



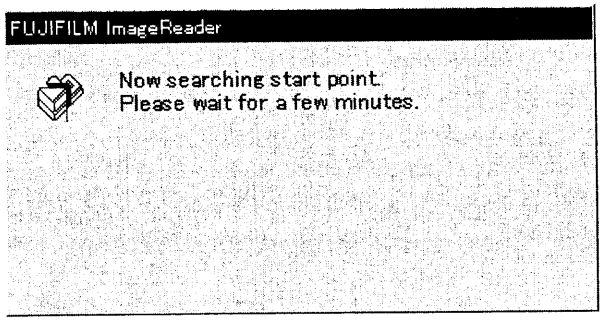
※ 保存先にMOや外部のハードディスクを選択しないでください。画像データの欠落が起きる場合があります。

5 [保存(S)] をクリックすると読み取りが開始されます。

6 以下のダイアログ表示後、読み取り状況を示すダイアログに変わります。

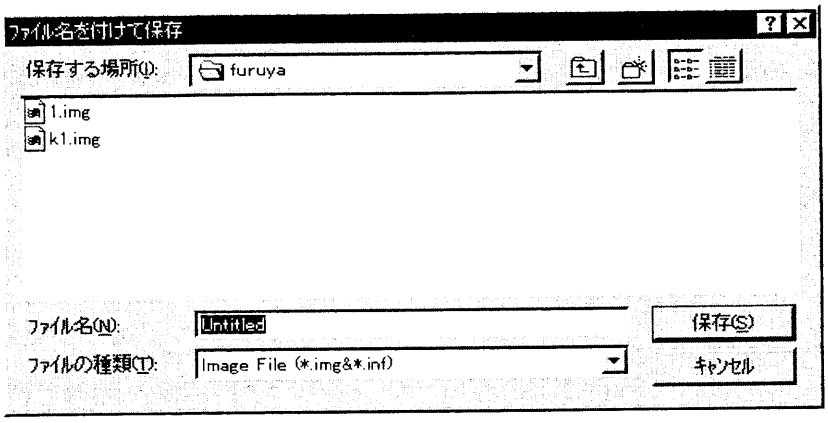


読み取り開始点を探しています。



4 各項目の設置後、[Read...] をクリックしてください。

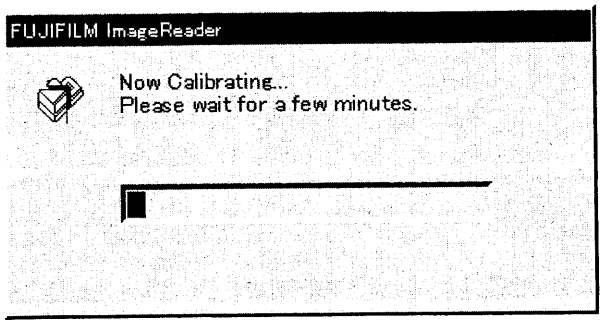
以下のダイアログが表示されます。画像保存場所を設定してください。



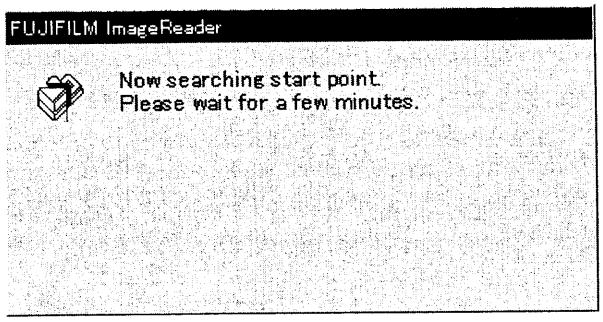
※ 保存先にMOや外部のハードディスクを選択しないでください。画像データの欠落が起きる場合があります。

5 [保存(S)] をクリックすると読み取りが開始されます。

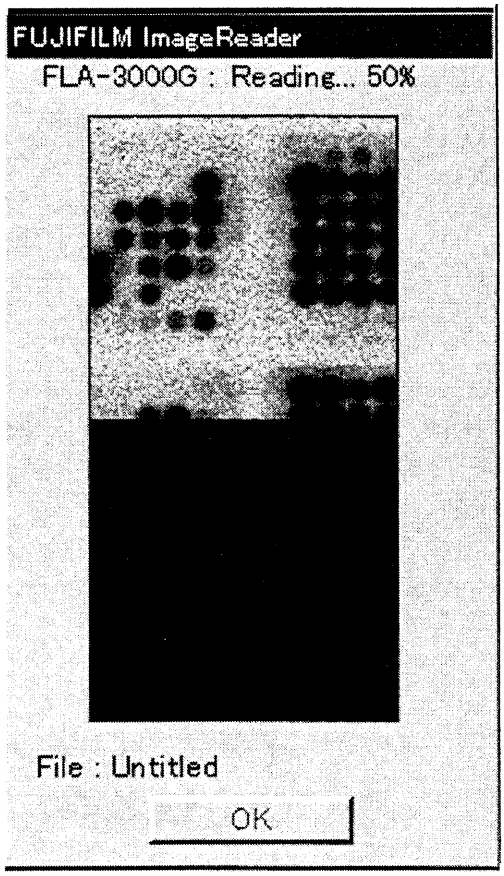
6 以下のダイアログ表示後、読み取り状況を示すダイアログに変わります。



読み取り開始点を探しています。



読み取り実行中です。



読み取り終了後、OK をクリックすれば、読み取り条件設定ウィンドウに戻ります。

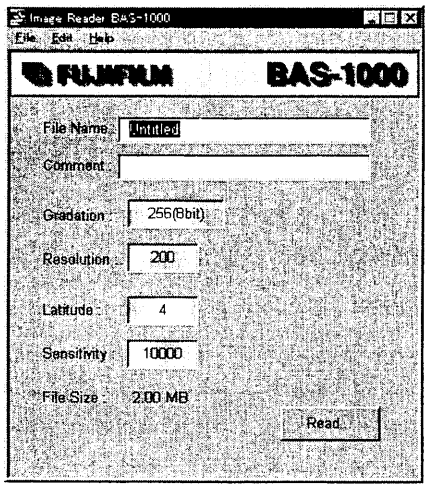
※ 誤って読み取り中にフタを開けてしまった時には、それまで読み取った分の画像ファイルが作成されます。ただし、定量値の保証はされません。

7 読み取り終了後には以下のような画像ファイルが作成されます。

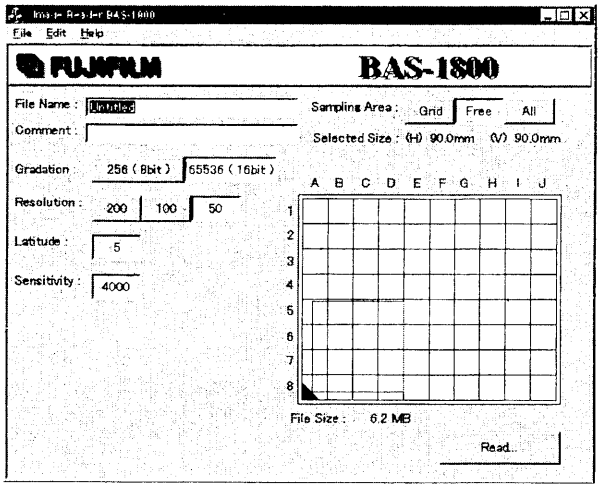
or

3. その他のIPリーダ

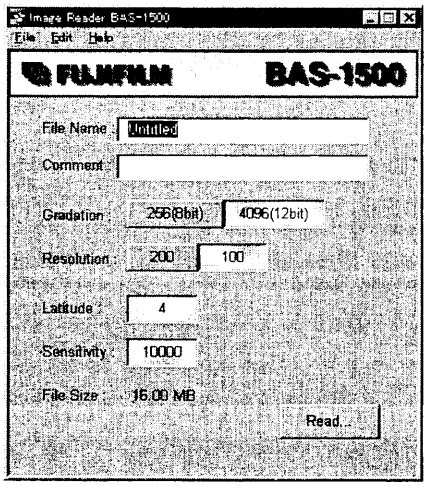
BAS-1000



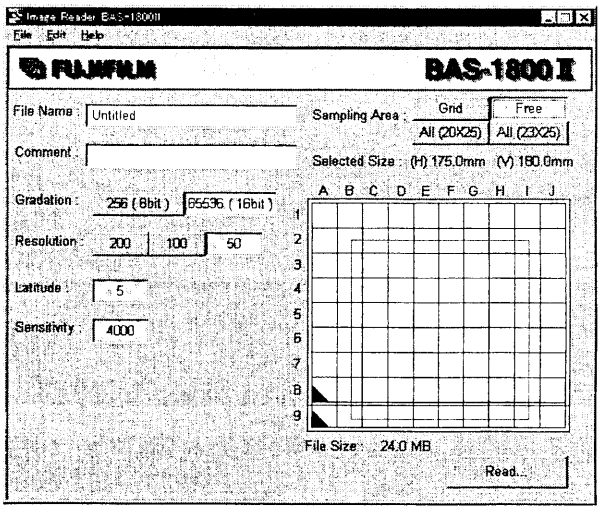
BAS-1800


File Edit Help
FUJIFILM
BAS-1800
File Name : Untitled
Comment :
Sampling Area : Grid Free All
Selected Size : (H) 90.0mm (V) 90.0mm
Gradation : 256 (8bit) 65536 (16bit)
Resolution : 200 100 50
Latitude : 5
Sensitivity : 4000
A B C D E F G H I J
1 2 3 4 5 6 7 8
File Size : 6.2 MB
Read...

BAS-1500



BAS-1800II


File Edit Help
FUJIFILM
BAS-1800II
File Name : Untitled
Comment :
Sampling Area : Grid Free
All (20X25) All (23X25)
Selected Size : (H) 175.0mm (V) 180.0mm
Gradation : 256 (8bit) 65536 (16bit)
Resolution : 200 100 50
Latitude : 5
Sensitivity : 4000
A B C D E F G H I J
1 2 3 4 5 6 7 8 9
File Size : 24.0 MB
Read...

BAS-2500